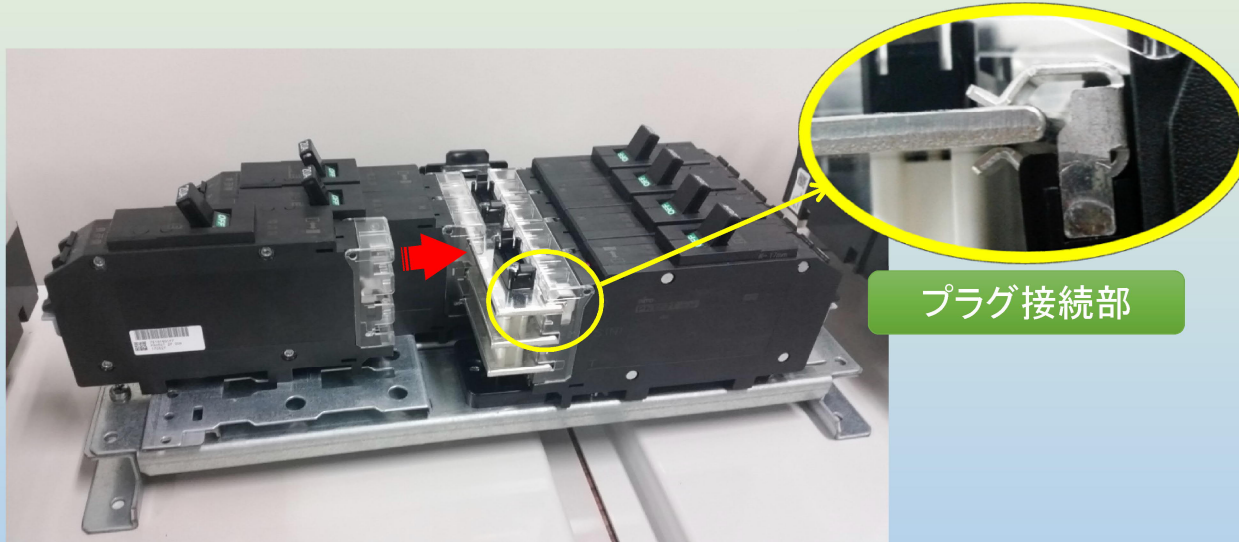


1. プラグイン接続

分岐ブレーカー次側プラグイン端子構造の採用

分岐ブレーカー次側はプラグイン構造を採用しているため、ブレーカ交換時のねじ締め作業が必要なく、スライドインにより簡単に接続ができます。



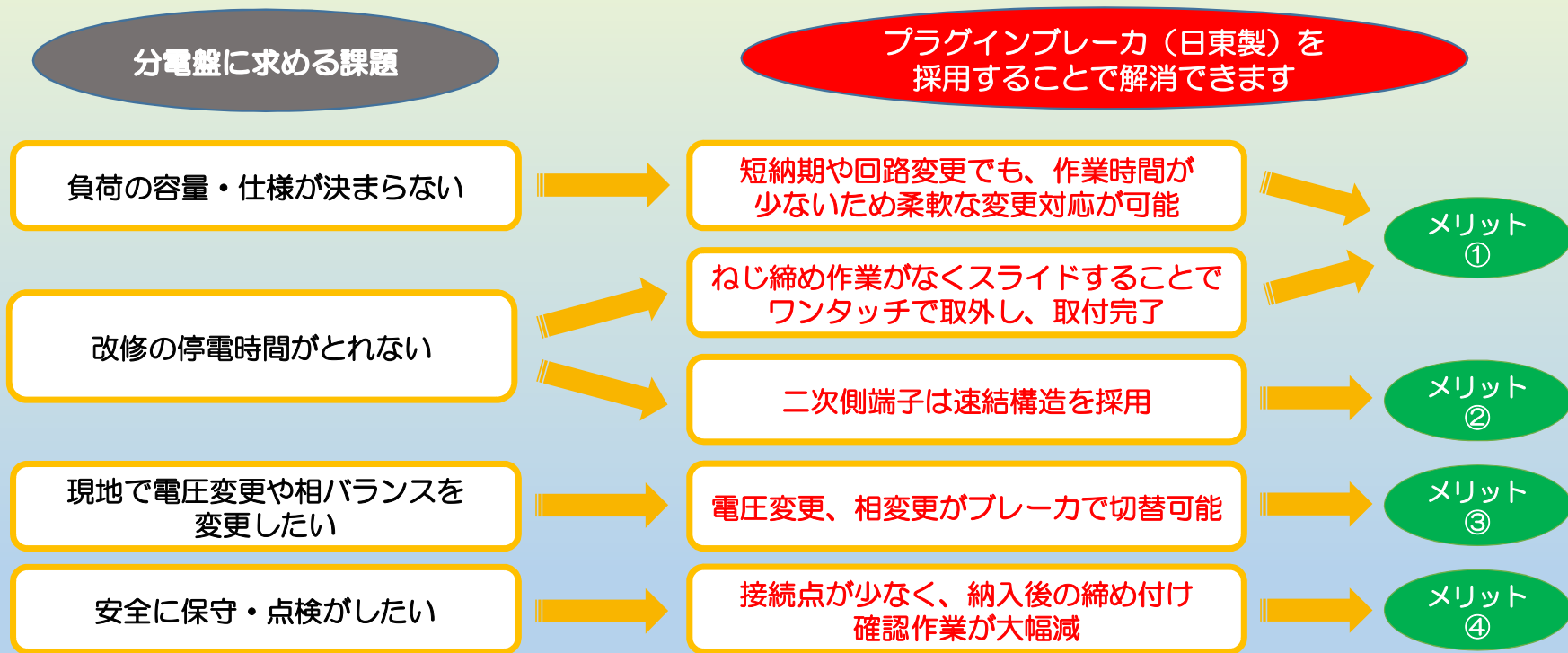
プラグ接続部

分岐ブレーカ接続イメージ



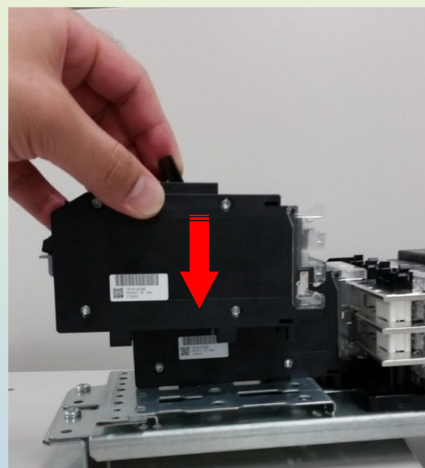
2. プラグインブレーカのメリット

日東製プラグインユニットを採用するメリット



メリット ①

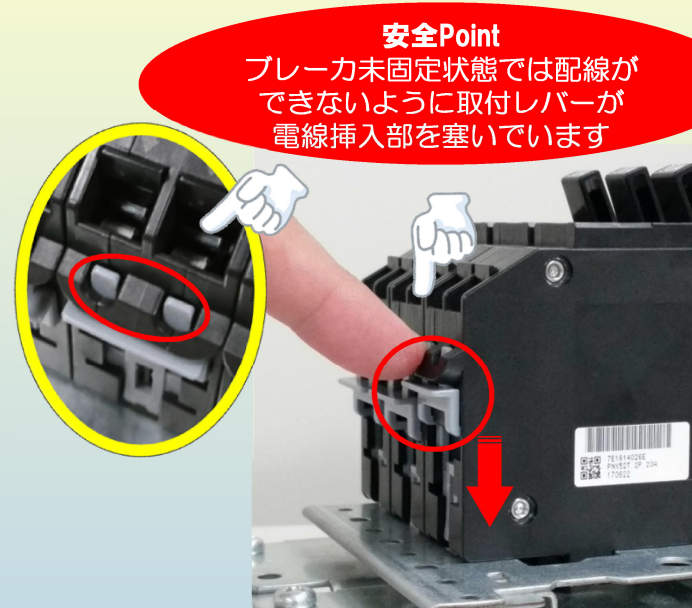
分岐ブレーカの交換・追加・変更に短時間で対応可能



取付台にセット



母線バーに水平に差し込む



取付レバーをロックして
取付完了！

※ブレーカの取外しは逆の手順となります

簡単に取外し・取付が可能で改修時間の短縮となり停電時間も短くなります

メリット ②

電圧変更、相切替が容易

切替前
100V(R-N)



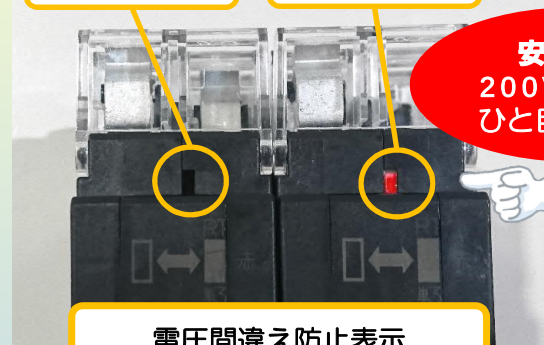
電圧切替
100V(R-N)→200V(R-S)



100V表示

200V表示

安全Point
200Vの状態が
ひと目でわかる



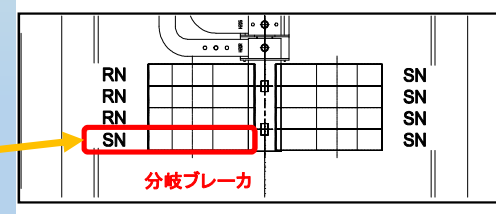
電圧間違い防止表示

相切替
100V(R-N)→100V(S-N)



負荷変更があってもブレーカ側で
相切替ができるので相バランスの
変更が容易です

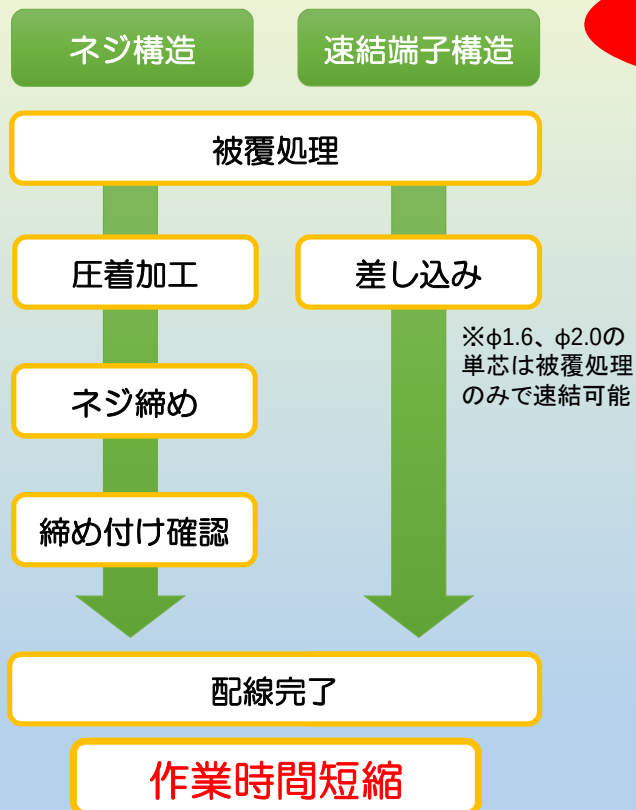
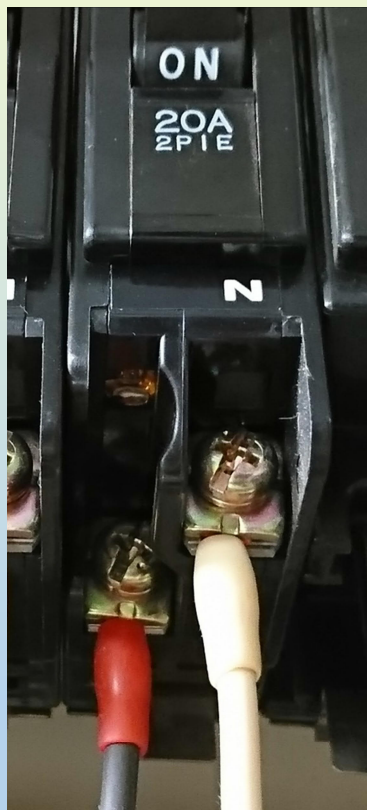
相に関係なく
左右どちらでも
配置可能です



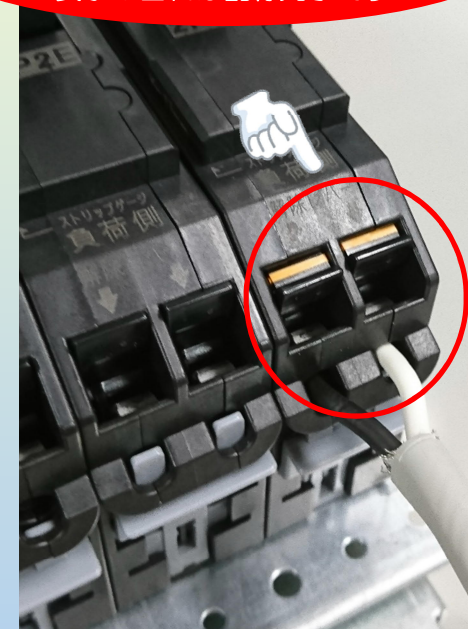
メリット

③

二次側端子は速結構造のため配線作業時間を短縮できます



安全Point
電線を差し込みオレンジ色の表示が出れば配線完了です



※二次側速結端子のみ

メリット

④

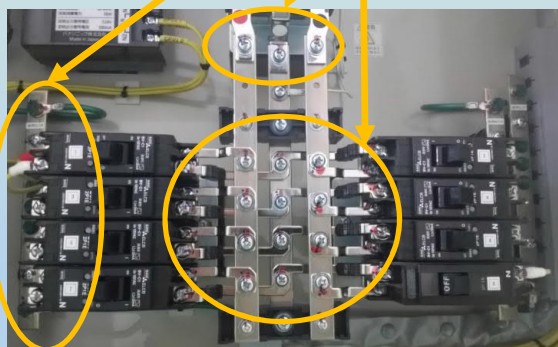
ブレーカ充電部の締め付け確認作業が削減され保守作業が軽減します

■締め付け確認箇所

主幹バー接続部 3点

分岐ブレーカ電源側接続部 28点

分岐ブレーカ負荷側接続部 16点



ネジ構造

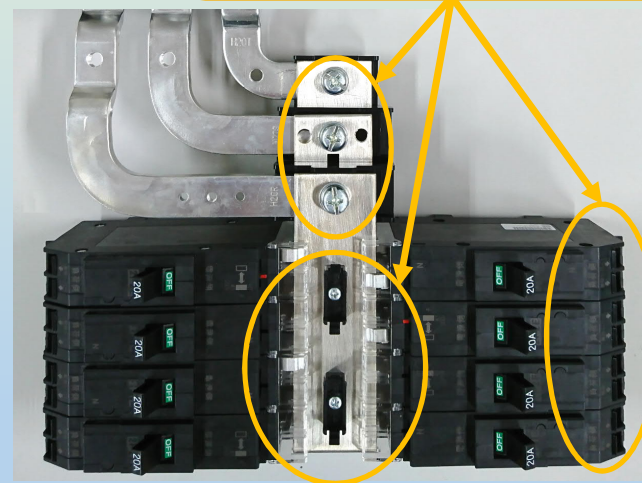
94%削減

■締め付け確認箇所

主幹バー接続部 3点

分岐ブレーカ電源側接続部 0点

分岐ブレーカ負荷側接続部 0点



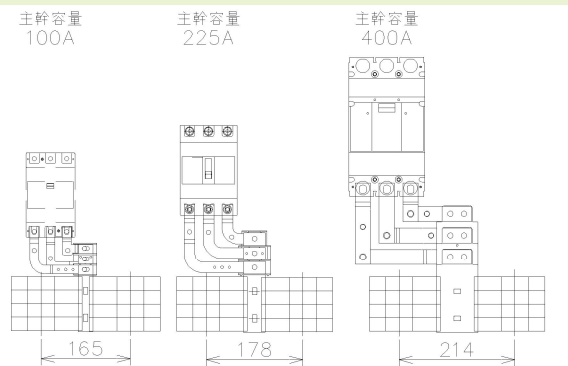
プラグイン構造

※負荷側速結端子使用時

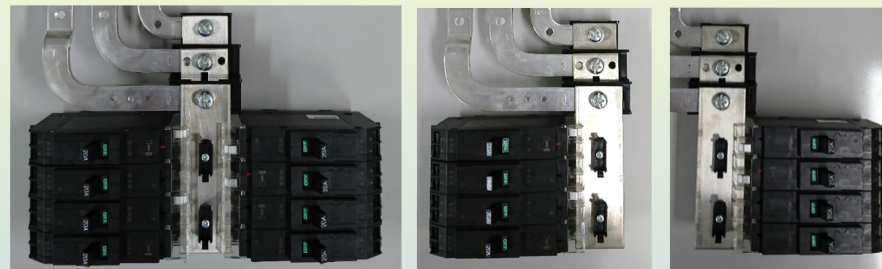
3. 豊富なラインアップ

用途に合わせてオプションを選択できます

主幹容量は400Aまで対応可能



片側配置とすることで省スペースを実現

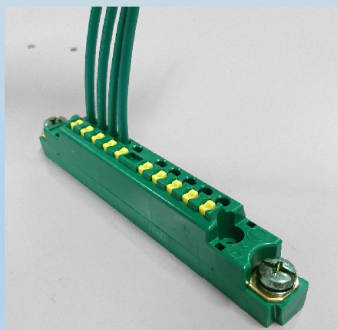


両側配置

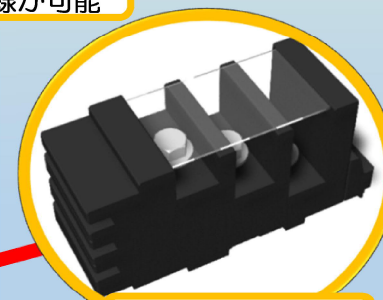
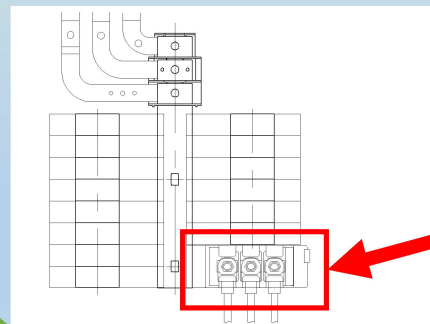
左側配置

右側配置

負荷側速結接地端子



プラグイン送り端子台付で
幹線末端からの配線が可能



送り端子ユニット

扉ユニット式制御盤

短納期対応！ 柔軟な変更対応！

操作スイッチ・表示ランプを
単位装置毎にユニット化！

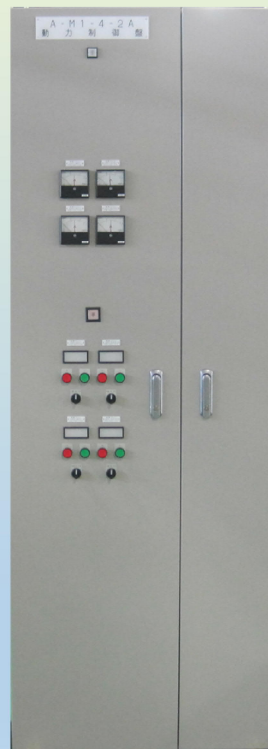


- ・回路を他の盤に移動したい
 - ・ランプやメータを増減したい
 - ・納入盤に回路を増減改造したい
 - ・制御を変えるのでスイッチを増減したい
- このような要望にも迅速な対応が可能です

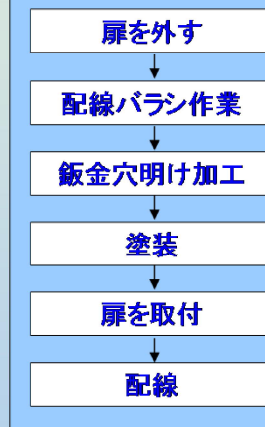
扉の変更がカンタン

従来の制御盤

回路の増減に対して扉を再製作していたため
その分、納期・費用が掛かりました



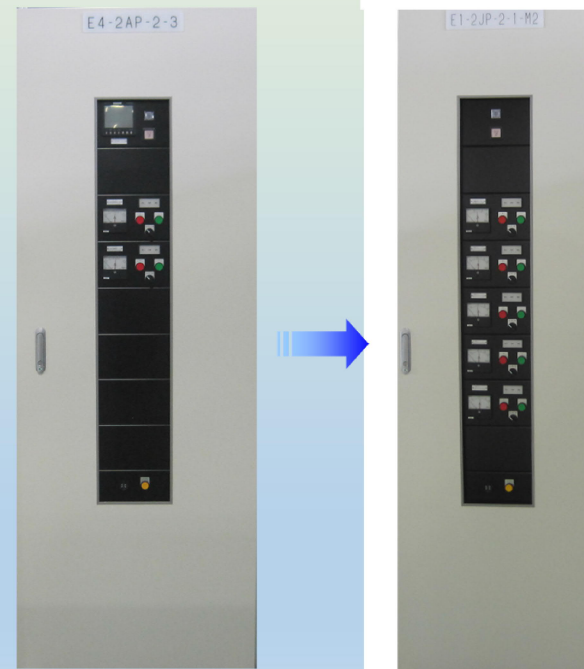
扉再製作の工程



扉ユニット式制御盤

回路変更があっても
扉はユニットパネルを交換するだけ
1面取消のような大きな変更があっても
扉を他の盤に流用できるためコスト削減が可能です

変更が発生しやすい大規模な設備に適しています



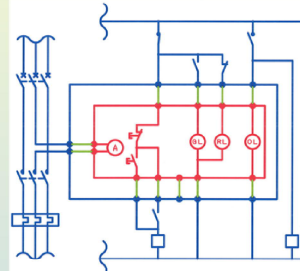
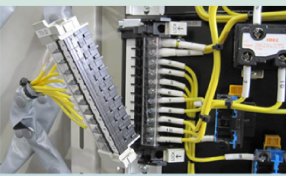
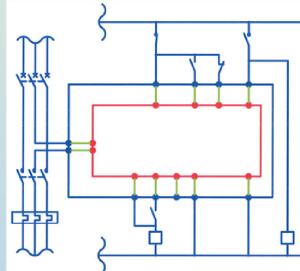
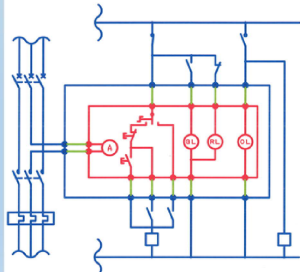
ユニットパネルの交換

盤内機器と扉機器の接続部にブロック端子台を使用
ブロック端子台はレバー操作で簡単に脱着可能なため
盤を据付後の改造にも適しています



ユニットパネルの交換例

盤内 ユニットパネル 扉への配線 ●・・・ブロック端子台

 ①「手動」の回路を 「手動－停止－自動」の回路に 変更します	
 ②ブロック端子台を外し ユニットパネルを外します	
 ③盤内を変更したらユニットパネルを 取付して完了です 扉への配線は予め余裕を持った 本数で接続しています	

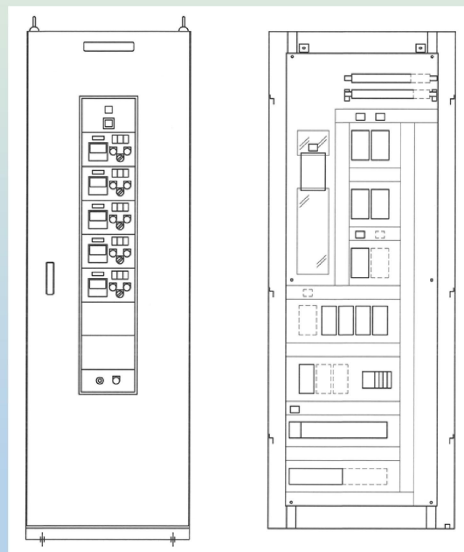
回路増・容量アップを想定した設計

将来機器スペース

盤寸法を大きくしない範囲で将来用の機器スペースを設けます

- ・扉の将来追加スペース
- ・盤内の将来追加スペース

これらのスペースをなるべく同等に設け
回路の追加に柔軟な対応を致します



扉に2回路分の取付スペースがあれば
盤内にも2回路分のスペースを設けます

容量アップを想定した配線サイズ

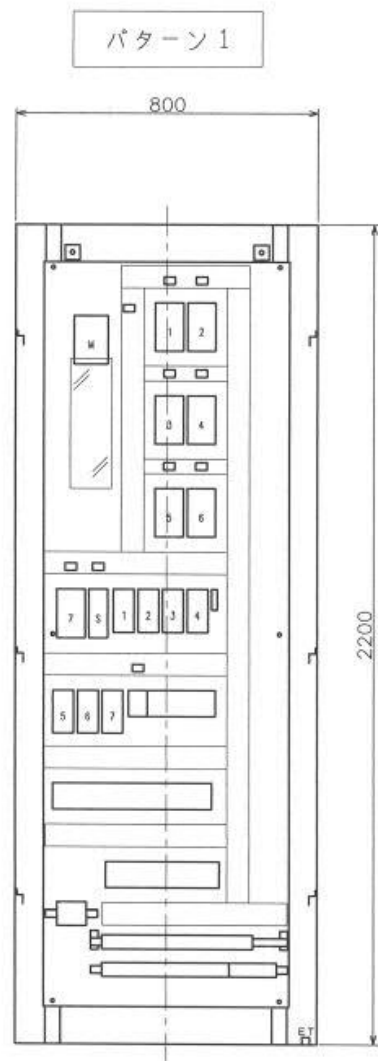
盤内配線はワンランク上の配線サイズを選定しております
電流計への配線もCTを用いて2SQで統一しており
容量アップ時も配線し直す必要がありません

200V電動機

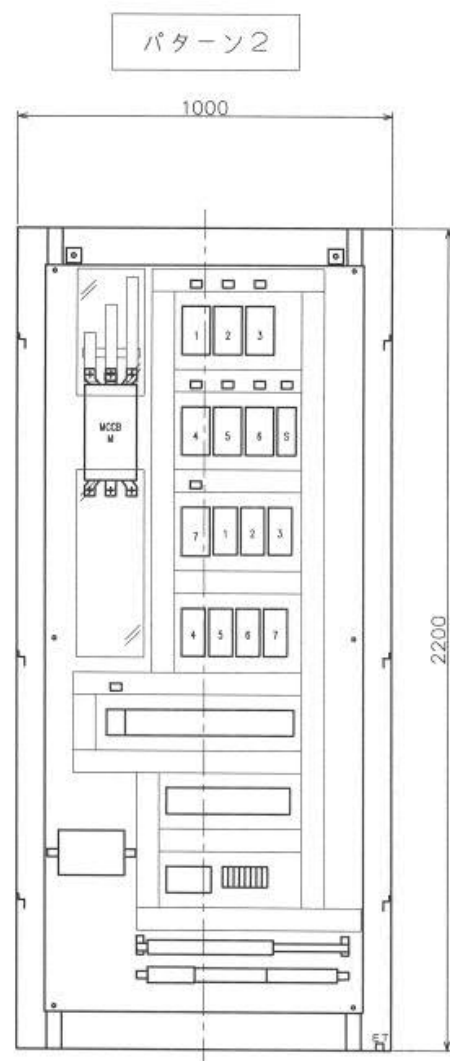
容量 (kW)	電線サイズ (SQ)	CTの有無
0.2～1.5	2	無し
2.2	3.5	有り
3.7、5.5	8	
7.5～15	22	
18.5	38	
22、30	60	
37	100	
45、55	150	
75	200	

400V電動機

容量 (kW)	電線サイズ (SQ)	CTの有無
0.2～2.2	2	無し
3.7、5.5	5.5	有り
7.5～15	8	
18.5、22	14	
30	22	
37	38	
45、55	60	
75、90	100	
110、132	150	

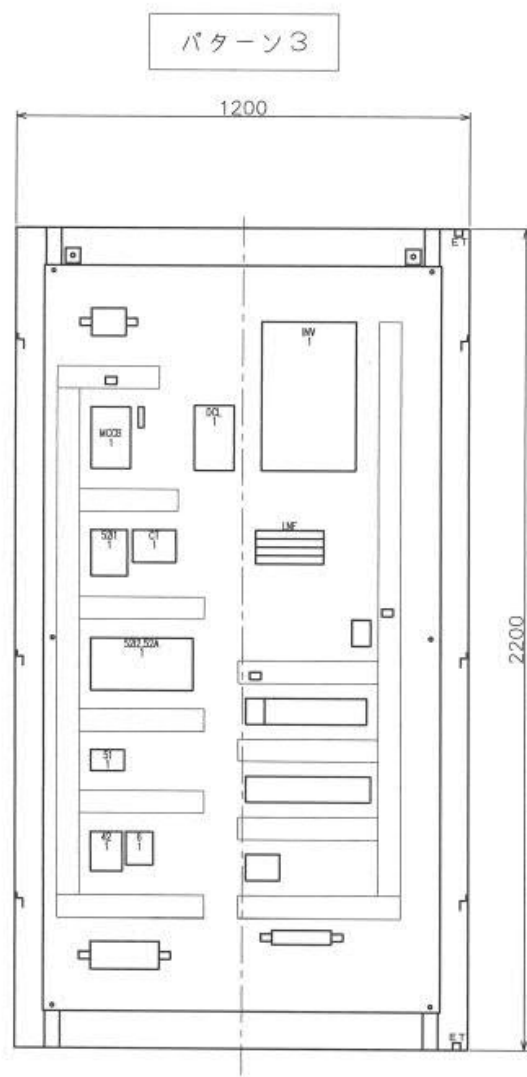


主幹50AF以下
直入7回路(2.2kW)

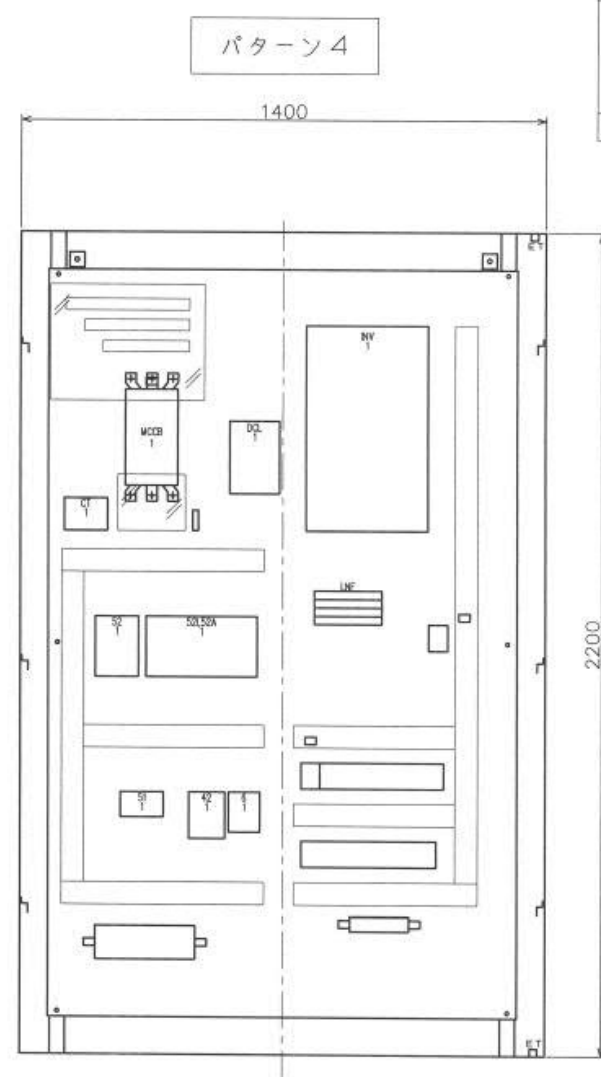


主幹225・400AF
直入7回路(5.5kW)

承認 設計 16.7.15 斉藤勇	検証 設計 6.7.15 澤田	設計 設計 16.7.15 澤田
LV8037-V00		



INV 1回路
(22kW以下)



INV 1回路
(30, 37kW)

承認	検証	設計
設計	設計	設計
16.7.15	16.7.15	16.7.15
斉藤勇	澤田	澤田
LV8038-V00		